

令和7年度 事業所における自己評価総括表（ドットジュニア 千葉中央第2教室（放課後等デイサービス・児童発達支援））

子ども家庭庁が定める「放課後等デイサービスガイドライン」「児童発達支援ガイドライン」に基づいて、さらに強化・充実を図るべき点（事業所の強み）や、課題や改善すべき点を整理・分析しています。この自己評価総括表をもとに、業務・サービスの資質向上や改善をしていくことを目的としています。

<保護者アンケート調査時期：R7/11/17~R7/12/5> <職員アンケート調査及び検討時期：R7/11/17~R7/11/25>

強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
<p>お子さまが「楽しい」と感じる体験を提供するプログラム運営およびサービス提供全体について、お子さまとご家族さまの満足度が高いことです。</p>	<p>お子さまが「楽しかった」「また来たい！」と思えるように、一人ひとりの興味や得意なことを引き出す多様なプログラムを企画・提供しています。お子さまが主体的に活動を選び、スモールステップで小さな成功体験を積み重ねられるような環境づくりを常に意識しております。</p>	<p>お子さまひとりひとりの特性やニーズを把握し、さらに小さな成功体験を積みあげていけるように、多様なプログラムを企画・提供してまいります。主体的な自己決定や自己選択ができ、生き生きと活動できるような環境づくりをさらに進めてまいります。</p>
<p>お子さまの特性や願い、ご家庭の思いを踏まえた個別支援計画が作成されており、個別支援計画に基づいたお子さまに合った支援を提供していることです。</p>	<p>個別支援計画にはお子さま自身の願いを反映させるようにし、ご家族と確認しています。 個別支援計画の見直しは職員間でサービス担当者会議を開催し、日々の支援や目標の見直しについて職員全員で参画しています。</p>	<p>支援の振り返り、サービス担当者会議等へはすべての職員が参画し、お子さまへのサービス提供がそのお子さまにとってさらに良いものとなるよう、日々の手立てや環境整備の向上に努めてまいります。 外部研修への参加や関係機関との連携についても、多くの職員が参画するかたちで事業所として質の向上に取り組んでまいります。</p>
<p>日々のサービス提供内容についてわかりやすくお知らせしたり、保護者さまからの質問や要望に対して適切に対応したりして良好なコミュニケーションが取れているということです。</p>	<p>保護者のみなさまが、どんな些細なことでも気軽に相談できる「風通しの良い関係性」を築くことを重視しています。日々の送迎時の会話はもちろん、LINEや電話、HUGマイページなどのツールを用いて、密な情報連携を図っております。</p>	<p>2025年度には家族支援、子育てサポートとして参観の機会等を保護者さまに提案してまいりました。今後も積極的にご家族の支援機会を提供してまいります。</p>

弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だとと思われること	拠点として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取り組みや工夫が必要な点等
<p>災害時や緊急時の対応について保護者さまのなかにはわからない、「防災訓練」等の取組が見えないという声があります。</p>	<p>災害時や緊急時の対応についての情報発信の機会が少なかったことや、月次で取り組んでいる安全計画に基づく防災訓練の実施状況などを「見える化」する部分に課題があると感じています。</p>	<p>新規契約利用時に非常災害対応について十分な説明をします。 安全計画に基づく防災訓練について、お子さまが実際にいる場面での訓練などを防災教育の観点からプログラムとして実施し、様子についても可視化し情報発信してまいります。</p>
<p>教室の使用テナントの立地や構造上の課題（老朽化等）から、十分なバリアフリー環境が提供できていません</p>	<p>教室内が清潔で安全な環境になるように構造化された空間にするための環境づくりに努めています。 教室内は2025年度内に床の張替え工事を行い環境が改善されました。 男子トイレの老朽化や配置（教室外、廊下に1室）などなど設備面に課題があると感じています。</p>	<p>お子さまを受け入れるにあたって、清潔で安全で、構造化された空間となるよう環境整備に引き続き取り組んでいます。また快適に過ごさせている様子についてご家族さまにもご理解していただけるよう、子育てサポートなど教室内のご様子を参観していただけるような機会を作ってまいります。</p>